

申請書記入例

(申請書一式…1. 申請者情報 2. 実施計画書 3. 事業経費計画書)

【2025 年度 助成事業】申請書

9月22日か29日
のどちらかの日付

港区立男女平等参画センター
2025 年度 助成事業 申請書

1 <申請者情報>

		(説明会参加日: 2024 年 9 月 22 日)		提出日: 2024 年 10 月 14 日	
申請タイプ <small>☑を入れてください</small>	<input checked="" type="checkbox"/> ホップ	<input type="checkbox"/> ステップ	<input type="checkbox"/> ジャンプ		
団体名	一般社団法人 ●●●●		← 個人の場合は、記載なし		
代表者氏名	芝浦 みなと				
登録番号			<small>(←団体登録をされている場合は、その番号を正確に記入してください)</small>		
申請者連絡先	申請者名	芝浦 みなと			
	住所	<small>(以下は「申請者名」に記載した担当者の連絡先を記入。本事業の実施における主要な連絡先となります)</small> 〒105-0023 東京都港区芝浦▲-▲-▲			
	電話 <small>(携帯電話)</small>	03-1234-5678			
	FAX	03-1234-5678			
	Eメール	abc@defg.jp			
団体情報	活動内容	一般社団法人●●●●は、■●■を目的に/テーマに、▲▲▲などを行っています。具体的な活動は、年3回の講座開催、相談事業の実施、メールマガジンの配信です。			
	メンバー構成	合計 4 名 (性別の内訳: 女性 2 名、男性 2 名) ※申請時点			
	登録有無	リーブラの団体登録の状況について該当するものにチェック(レ点)を入れてください。 <input type="checkbox"/> 男女平等推進団体 <input type="checkbox"/> 男女平等学習団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			
助成事業に応募した理由	団体の活動目的、テーマに造詣の深い講師を招いた事業を行い、団体の活動を促進するとともに、港区民に広く■●■の啓発を行い、男女平等参画推進に寄与するため。				
過去の参加実績	2 回 《過去開催した事業のテーマ・内容、助成タイプ、年度》 DV 防止啓発講座(ホップ、2019 年度) ワーク・ライフ・バランス推進講座(ホップ、2021 年度)				

本事業において優先される連絡先に
○を付けてください。↓

どのような目的をもった団体なのか、
どのような活動実績があるのかを明記

要項「2. 募集する事業の要件」
を参照

2 <実施企画書>

事業テーマ	企画内容のテーマに該当するものにチェック(☑)をつけてください。(複数選択可)	
	<input type="checkbox"/> 1 性別、性的指向及び性自認による差別の解消	<input checked="" type="checkbox"/> 2 女性活躍推進・働き方改革に関わるもの
	<input type="checkbox"/> 3 男性にとっての男女平等参画推進に関わるもの	<input checked="" type="checkbox"/> 4 ワーク・ライフ・バランスの理解促進や、多様な働き方を選択できる社会づくりに関わるもの
	<input checked="" type="checkbox"/> 5 男女平等参画の視点による地域のネットワークづくりや住みやすいまちづくりに関わるもの	<input type="checkbox"/> 6 配偶者等からの暴力(ドメスティック・バイオレンス)の防止に関わるもの
	<input type="checkbox"/> 7 港区内の男女平等参画の調査・研究・分析に関わるもの	<input type="checkbox"/> 8 上記以外で港区の男女平等参画施策への貢献や進捗が期待されるもの ()
事業名称	女性のための起業講座(全2回)	
日時	第1回 2025年9月●日(▲) 午後2時~4時 第2回 2025年10月●日(▲) 午後2時~4時	
対象・定員	テーマに関心がある方/港区内の起業を志す女性 各回50名	
講師	第1回 ○○○○氏 (□□□大学) 第2回 △△△△氏 (◇◇◇コーディネーター)	
会場	ZOOMによるオンライン開催(各回) 学習室C(配信のため講師・手話通訳・実施団体が使用)	
参加費	300円 (使途: 資料代)	
保育	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 ・ <input type="checkbox"/> 不要 (該当する方にチェックを入れてください)	
手話通訳	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 ・ <input type="checkbox"/> 不要 (該当する方にチェックを入れてください)	
事業目的	【事業目的】現在、「起業」は誰にとっても身近なものになり、女性においても柔軟な働き方の可能性をもたらし、社会課題の解決へつながるなど、様々な面で関心の高いトピックとなっている。しかし、起業を検討するにも、簡単に相談する相手がいなかったり、適切な情報が得られなかったりして、なかなか実現には結びついていない。そこで、港区内で起業を志す女性に、起業の方法について情報提供する。	
内容 (具体的に)	<p>【第1回】基本編 講義・ワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の起業の現状 ・起業のメリット・デメリット ・起業するにあたってのマインドセット ・起業に必要なこと・もの ・起業のためのキャリアの棚卸し <p>【第2回】応用編 講義・交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の起業例、個人事業と法人事業の違い ・収益を出す方法、必要経費・資金調達の方法 ・事業計画書の作り方 ・参加者同士で事業アイデアについて意見交換 	
期待される効果	<p>※本企画が港区の男女平等参画の推進にどのような効果があるのか、具体的に書いて下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全2回の講座で、起業に対する現状を学び、起業に際する自分自身の強みなどを理解して、今後の方針や準備について考える機会となる。 ・起業を志す女性を支援することで、女性の「多様な働き方」を実現し、女性の経済力の向上につながる。これは、港区男女平等参画行動計画で掲げている「女性の起業支援」に合致する。 ・同じ志がある女性同士の交流により、女性のネットワーク、コミュニティにつながる。 	

男女平等参画に関して何を目的にし、具体的にどのようなことを行うのか、それによりどのような効果が見込めるのか、という見通し・企画力も審査のひとつです。

3 <事業経費計画書>

詳細、単価・人数や日数を記載

事業経費申請に際し、実施企画の収支経費を記入すること。

		経費細目	内訳	金額(税込)	
収入		自己資金		円	
		参加費等	資料代 300 円×定員 50 名×2 日	30,000 円	
		その他の収入		円	
				円	
		助成金申込額(A)		100,000 円	
		収入計(B)	上記収入費目の合計金額を記載してください→		130,000 円
支出	予算内訳	報償費	講師謝礼 20,000 円(2 時間)×2 名×2 日	80,000 円	
		消耗品費	・印刷代(2800 部)…13,000 円 ・用紙代(3000 枚)…2,000 円 ・用紙代(A3 ポスター用)…500 円 ・文房具…500 円	16,000 円	
		通信運搬費	ポケット Wifi レンタル(6 泊 7 日×2 回)	7,000 円	
		会場使用料	ZOOM 使用料	2,000 円	
				円	
				円	
				円	
				円	
		一時保育費用	(2,500 円×3 時間+交通費 1000 円)×2 名	11,000 円	
		手話通訳費用	手話通訳 6,000 円×2 名 交通費 1 人につき 1000 円を想定×2 名	14,000 円	
		支出計(B)	上記支出費目の合計金額を記載してください→		130,000 円

要項
「4. 助成する
経費」を参照

助成金額を上回らないこと。
受講者個人が消耗するなど、
個人負担があるべきかは要検討。

一時保育と手話通訳費用については、
説明会資料を参照。
※手話通訳の交通費については、
想定費用を計上。

「本講座の運営にのみ」必要
な方法をとる。
※継続的な運営費は対象外。

申請者は、以下の点につきすべて了解した上で、本申請書を提出しているものとします。

- ・本事業に関連する文書をすべて読み、助成事業の目的・主旨を理解しています。
- ・リーブラ以外の助成金を併せて使用して事業は実施できません。
- ・参加費の徴収は営利目的ではありません(参加費は1人/1回あたり1,000円以下とします)。

【事業経費計画書・記入上の注意点】

- ※収入の合計と、支出の合計は同額になる必要があります。
- ※一時保育費用、手話通訳費用については、募集要項など別紙をご参照ください。

以上